

RI 第 2 6 1 0 地区

井波庄川ロータリークラブ会報

2009-2010 年度 No.9

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2009-2010 年度 会長 斉藤 彰、幹事 坂井 彦就

2009-2010 年度 RI テーマ



「ロータリーの未来は
あなたの手中に」

(ジョン・ケニー会長)

例 会 記 録

第 1 4 9 0 回例会

平成 2 1 年 9 月 9 日(水) 井波文化センター

1. 点鐘 斉藤会長
 2. ソング 四つのテスト
 3. ビジター 南砺 R C 河合映浩
 4. 会長の時間
 - ・ 全国合唱コンクールにおいて井波小学校合唱部が入賞しました。たいへん喜ばしく素晴らしいことです。
 - ・ 地区大会の案内から「障害のない社会をめざして」私たちを取り巻く社会には、障害に関するさまざまな問題、事象が提起されていることはご承知のとおりです。こうした側面について考えてみる機会も大切ではないでしょうか。
 5. 幹事報告
 - ・ 第 1 4 回セミナーについて
 - ・ 囲碁同好会について 1 1 月 1 4 日
 - ・ 合同例会について 9 月 1 5 日 城端クアガーデン (バス 1 7 : 1 0 川那辺宅前発)
 6. 委員会報告
 - 三角会員 ・ 先般、社会奉仕委員会に出席しました。各クラブの活動状況について報告することとなり、当 R C から、継続的に活動を行っている「南砺の山々を守ろう」の自然保護活動について概要を報告しました。
 - ・ 三菱自動車エコカーの試乗感想について
- 山本会員 ・ 「2 0 0 9 いい歯の日キャンペーン」に

ついて 1 1 月 8 日午前 1 0 時、マーシ園において歯磨き講話及び記念品受け取りを行います。是非参加してください。

- ・ 「むし歯予防全国大会 in 富山」について

1 1 月 1 4 日富山県歯科医師会館 当 R C が協賛しています。

7. 出席委員会 22 名中 13 名出席 65.0% (調整後)

8. ニコニコ B O X (河合 SAA : 本日 5 名 9,000 円)

9. 卓話「上流へ向かえ」

担当 山本武夫会長エレクト

“G o U p s t r e a m !” は、フッ化物によるむし歯予防で、よく使う言葉です。

つまり、治療よりも予防ということで、私がロータリークラブに入会するきっかけになった「ロータリークラブは、ゴミを拾う活動よりも、ゴミを出さない活動をするのだ」という考えの基本の言葉です。

今年の夏、私は大変素晴らしい体験をいくつもすることが出来ました。長い人生で、恐らくこんな事は 2 度とないのではと考えています。

1. まず、一つ目は、娘の剣道の活躍です。これは、上流へ向かえという言葉とは少し違いますが、折角スポーツを競技としてやる以上は、

少しでも上位を目指すのが、宿命と言えます。県選手権で、全国大会出場権を獲得して、北信越大会や全中熊本大会に出場する事が出来ました。応援する親としても最高の気分でした。



2. 続いては、これも母校福野高校野球部が、甲子園出場を決めたことです。ミラクルな勝ち方を続け、県大会決勝では、あの甲子園常連校に9回表、1対4のビハインドから4点を奪って逆転し、さらには9回裏2死満塁のピンチもしのいでの優勝でした。昭和46年福野高校普通科卒業生の会「福高四六辰巳会」が、京都で同級会を開き、明日甲子園というところで、雨で順延しすごすご帰ってきました。後から見に行った方が羨ましかったです。これも人生かなと思います。
3. もう一つは、この夏のたびです。

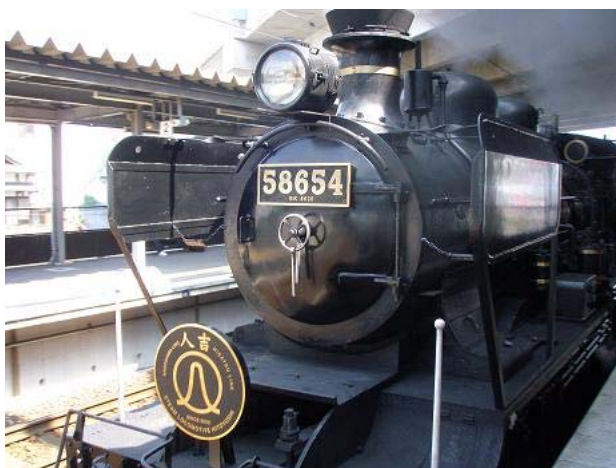


- ① 歯科医師会の囲碁愛好会の仲間と、信州志賀高原、渋湯田中温泉郷の地獄谷温泉「後楽館」に行きました。8月1日、集中豪雨の最中、向かった山の中の温泉。駐車場から15-6分やや険しい山道を歩いていかないと着けない温泉でした。宿に着くと、窓の外に、日本猿。周辺が野猿公苑となっていました。10数メートル吹き上げる噴泉も絶え間なく、露天風呂も原始的でした。着いた日の露天風呂脇の川は、赤い色をした濁流で、かなり増水していましたが、雨の止んだ翌日は、やや緑色した小川の原水を見せてくれました。川の上流は、自然のままです。何も汚染がなく、自然の現象がそのまま表現されます。ここに来て、川の下流はいかに人間によって汚されているのかと、痛感させられました。



- ② もう一つは、娘の剣道全中熊本大会に応援でかけつける際、雄神トラベル上田さんの

粋な計らいで、熊本県八代から、会場の人吉まで、J R肥薩線のS L人吉号に乗ることが出来ました。昔懐かしい、S L(蒸気機関車)が、観光のためにカムバックして、働いていました。これも、下から山手に登るルートでしたが、日本3大急流(球磨川、富士川、最上川)の一つ、球磨川に沿って走り、途中、10個のトンネルをくぐって行きました。球泉洞と言う、鍾乳洞のある、一勝地駅には、10分止まりましたが、「地に足をつけて一勝を勝ち取る」と言う、お札になった入場券が売っていらしたので、選手の分を買い占めたのは言うまでもありません。S Lという、現代のスピードを争う時代には、かけ離れた決してエコとはいえないものの、自然に触れる機会をゆったりと持たせてくれる、郷愁を強く覚えたのは、乗った本人ばかりではありませんでした。大会会場のすぐ脇を走っていたので、剣道着の子供達も、試合の合間の休憩中か、一生懸命に小生の乗ったS Lに向かって手を振ってくれた姿は、何か心が洗われる思いがしました。S L人吉号に乗って、球磨川沿いに上流に向かう旅は、自然の大切さを考える旅でもありました。





【編集後記】 三谷会員の東北の旅に続いて、山本会員の熊本、長野の出来事など夏の思い出を語っていただき楽しい宅話となりました。遠くの地を訪ね、見聞することは、そこからしか感じられないもの、新たな発見・出会いが得られるようです。秋です旅に出かけましょう！

(荒木 記)